

令和2年度支部職能委員合同交流会アンケート結果

回答数：39

1. 開催時期について

(1) 開催時期について

良かった	36
悪かった	3

(2) 曜日の設定

良かった	35
悪かった	4

・平日が良かった

(3) 時間配分

良かった	36
悪かった	3

・半日でよかった

・職能委員会別の交流会を楽しみにしていたが時間が足りなかった

2. 各職能委員長報告は理解できましたか

できた	23
まあまあできた	16
あまりできなかった	0
できなかった	0

・各職能での取り組みを学ぶことができよかった

・他の職能委員会の活動が分かった

・自分たちの活動も活発にしたいと思った

3. 情報提供について

(1) 「岩手県における看護の動向」について理解できましたか

できた	23
まあまあできた	16
あまりできなかった	0
できなかった	0

- ・新卒者に長く勤務してもらえる工夫が必要であること。看護職員が安心して働き続けられる体制が必要。

- ・様々なデータを見ることができ参考になった。

- ・岩手県内への就職に向けて様々な取り組みをしている事を知った。

- ・看護職の養成確保に向けた県の取組と成果（修学資金貸付者の県内就業率など）を知ることができてよかった。

- ・看護職員が安心して働き続けられる体制が必要。

- ・就業者数は増加しているが、働き方改革や就業場所の拡大により、計画的に就業者を増やしていく必要性を感じた（年齢構成なども考慮必要）。

- ・本県の看護の動向について勉強できました。県内における看護の動向について学べた。

- ・看護師が増加しているとのことだったが不足している病院もあるので、不足している病院に補充していただけたらいいなと思った。

- ・高齢化問題について改めて考える必要があると思った。

(2) 「岩手県における地域包括ケア推進に向けた現状と課題」について理解できましたか

できた	23
まあまあできた	16
あまりできなかった	0
できなかった	0

- ・看護職の役割について理解できた。
- ・地域ごとに実情が異なるのでニーズに合わせた地域包括ケアを推進する必要があるとわかった。
- ・2025年問題・・・深刻な問題だと改めて感じた。
- ・地域ごとに高齢者を取り巻く状況は違うので、自分の町に合った地域包括ケアシステムが構築されるよう連携が必要と改めて感じた。
- ・高齢者のみでなく、母子を取り巻く環境にも包括的な関わりが必要。
- ・わかりやすい資料、歯切れの良い説明で、岩手県の現状、課題を理解できた。地域共生社会の実現に向け、「見えないものも的確に判断できる観察力」と「患者・家族の信頼を得る総合的な人間力」に加え、「他職種と連携・調整するスキル」を切磋琢磨していく必要性を感じた。
- ・看護師の役割、重要性、責任の重さを痛感した。
- ・住み慣れた自宅での生活に戻すために、連携して進めていくには情報の共有が大切であり、互いに持っている情報を提供する場を作ることが大切だが、そこが大変な所でもあると感じている。地域包括ケアシステムについて学べた。高齢化する社会についてどのような取り組みをしているか知ることができた。

4. グループワークについて 現状や課題を共有できましたか

できた	21
まあまあできた	15
あまりできなかった	2
できなかった	0
無回答	1

- ・色々な意見を聞くことができてよかった。
- ・色々な情報を共有でき良かった。
- ・各機関の連携についての取り組みを聞くことができ、今後の活動について参考になった。
- ・地域別の多職種からの情報が得られた。
- ・地域を越えた、入退院時の情報が上手くできていないことが分かった。
- ・高齢者、妊産婦など連携できている部分、これからもやれる事が分かった。
- ・連携といっても様々な領域、職種間、地域間、施設間と広く、その中での課題、思いが一步步進んでいくとよいなと思った。
- ・施設ごとに「連携」のイメージが異なることが分かった。関わる機関にこだわらず、声を掛け、つながることの必要性を感じた。
- ・市町村によっては看護師などの人材不足もあり、調整に影響がでるのだと思った。連携が取れている市町村もあるので、県内外が同じように連携が取れるとよいと感じた。
- ・話し合いがとても良かったのでもっと時間がほしかった。
- ・時間が短かったが（今年は仕方ないですが）こういう話し合いは大切だと思った。様々な職種の方と情報共有できた。各職種の方から話が聞けてよかった。時間が足りなかった。もっと詳しく知りたかった。
- ・短い時間ではあったが、各地域の多職種で語り合うことができてよかった。
- ・時間が足りなかった。他の地域と情報共有できると良かったと思う。領域が幅広くまとまりにくかった。

5. 交流会全体の感想

- ・エネルギーが溢れ勉強になった。
- ・近隣地域の情報を得られて良かった。
- ・各支部の現状や課題について情報共有でき、とても良かった。
- ・職能ごとに集まっての意見交換が良いと思った。
- ・合同で情報共有することでそれぞれの立場の方向性がわかり、つながるには何が必要か理解できた。
- ・職種を超えていろいろな話を聞けて良かった。
- ・職能委員として、責任意識を強く持たねばと思った。

- ・色々な地区と、他の職種と話せたのが良かった。
- ・他病院の現状や参考にできるところもあったので良かった。
- ・集合しての交流会が開催できるかどうか心配したが、講師にも来ていただき、職能委員にも多数参加してもらうことができ、開催して良かったと感じた。
- ・同じ岩手県でも広範囲で、困っている現状を共有できた。
- ・色々な課題が理解できた。
- ・分からないことが、分かった。
- ・とても学びになった。
- ・岩手県での広い地域の事情を知り、各職能からの話を聞くことができ、今後につながる。
- ・様々な方々と交流できて楽しかった。
- ・各施設での問題点、職種間の問題を共有することができて良かった。
- ・岩手県保健福祉部の課長さんに来ていただき、現場の声を聞いてもらい嬉しかった。
- ・次回もえらいかたに来てもらい行政を良くして行ってほしい。
- ・グループワークは、同じ職能が良かったと思う。
- ・時間的にせわしい感じだった。
- ・もっと皆さんの意見を聞きたかった。
- ・今年に限っては Zoom で良かったのではないかと思った。

6. 今後企画してほしい内容

- ・成功した良かった事例の紹介があると分かりやすかったと思う。
- ・本日の情報提供に加え、つなげて、ケアマネ、MSW、リハなどもっと身近な多職種の情報があるといいと思う。
- ・地域連携、退院調整について
- ・地域包括ケアシステムを進めていくには看護職だけでなく他の職種との連携が求められる。そのような職種との連携を深める研修等を検討してほしい。
- ・保、助、看に分けたグループワークの時間もほしかった。
- ・今後も合同でグループワークを行いたい。
- ・コロナ対策

7. その他

- ・コロナであまりこのような会がなかったので、有意義だった。
- ・早い時間の開催でお昼に終了だと、午後に有意義に過ごせるので、冬以外は午前の開催をお願いしたい。
- ・委員同士の意見交換は必要と思うが、ソーシャルディスタンスを考えると、周囲の音が気になって集中できなかった。
- ・グループワークでは、周りのグループの声が入り聞き取りにくいことがあった。
- ・意見交換中、他のグループの声と混ざり聞こえにくかった。
- ・名札の名前が見づらかったので太いマジックペンで書いてほしい。
- ・オンラインを推進してほしい。
- ・皆さんそうだと思うが、自分の休みを削って参加している。旅費は出るが、休みの日はきちんと休みたい。モチベーションが下がる。役割で参加しなければならないのであれば看護協会活動での日程調整が必要と思う。(年次以外で) 土日休みは月 1 回のスタッフがほとんどで土、日の調整は難しい。土日以外での開催をお願いしたい。